



発行所 片貝新聞社
〒947-0101 小千谷市片貝町10367-4
TEL 0258-84-3246
FAX 0258-84-2632
編集発行人 吉原芳郎
印刷所 吉原印刷機



左岸南部生産組合の活躍が縁で

北陸農政局長と意見交換会

JA片貝町で熱心なやりとり

去る4月12日、JA片貝町管内の左岸南部片貝生産組合に北陸農政局長以下数名が訪れ、地元関係者との意見交換会を行った。この意見交換会は左岸南



北陸農政局長と意見交換会。JA片貝町代表(左)と北陸農政局長(右)が意見交換中。

県出先機関の統廃合について

あつという間に桜の季節も過ぎ早くも風薫る五月を迎えた。片貝の町民にとってはさほどの影響もなく、吹く風といつた感じがな

ここにきて県の出先機関の統廃合が示され、それらのほとんどが小千谷から姿を消すことになれば、それだけでなく経済的不況や少子化による人口激減で先行きの明るさが見えない。現在、市当局をはじめ県議、市議や関係者などが中心にな

主張

政治の改革、簡素化が叫ばれて久しいが、具体的には何一つ青写真は示されていない。今回県が示した方針をみると、長岡圏を目標として、小千谷を中核とする。先頃変更になった高校入学の魚沼圏への移行は全

北魚沼農業改良普及センターから2名、魚沼農政事務所から2名、市から中村農林課長他2名、JA片貝町から友田組合長他3名、生産組合から役員佐藤篤さん等が出席して、12日午前10時からJA片貝町の3階大会議室で大がかりな意見交換会が行われた。

新体制でスタート

この新体制でスタートした。意見交換会では、小林局長の「コシヒカリに比べて収益はどうか、大豆生産で苦勞する点、ブロックローテーションでコシヒカリを全くと作ることの出来ない農家はどうか」等の質問に対して、生産組合の佐藤篤役員と山口久久JA片貝町生産課長は、経費、各種補償、収量、価格など具体的な数字を示しながら「コシヒカリの方が収益面でも有利。大豆は気候に左右される。水田に戻す時肥料配分などで苦勞。畑作すると水田の時になかった雑草もはえる。



小宮さんご苦労様でした。小宮治郎氏(60)の引退を祝う会が開かれた。

小宮さんご苦労様でした

今春市役所を退職した小宮治郎氏(60)の引退を祝う会が、4月20日夜、美好亭で開かれた。親しい友人等が参加した。小宮氏は、小千谷市に合流後、社会体育課長、市民課長、会計課長、老人ホーム園長、最後は議会事務局

町(高橋サク(四之町)木曾ツヤ子(四之町)伊藤光子(四之町)▽送迎サービスは浅田弘外20名前後で行う。なお、詳しいことについては事務局84-2125へ

5月の活動予定
小学校低学年を主な対象に、絵本や紙芝居の読みかき、読みかかせ会、の5月の活動予定は、5日(金)午後3時30分、13日(土)午前10時30分、13日(土)午前10時30分、13日(土)午前10時30分

忍字亭に管理人おく
使用を便利に、を配慮
片貝ふれあい公園管理委員会(吉井陽会長)では、本年度の片貝ふれあい公園忍字亭には管理人を常駐させ、今年4月から来春3月まで定休日の毎月曜日と第一火曜日、第三日曜日を除いて全面的に開放し、利用できる時間は原則として、午前9時から午後4時まで、夜間は9時30分までとし事前許可。けやき園の開放は、忍字亭の開放に併せて、けやき園の開放も行う。

石上正義さん表彰される

魚沼漁業協同組合(桜井新組合長)は同組合の顕彰規定に基づき表彰式を小出町で行い、5名の平成12年度の表彰対象者に、去る4月22日開催された総代会の席上、それぞれに表彰状が贈呈された。



ピカピカの一年生。去る4月6日午後1時30分、片貝小学校(福原)で入学式が行われた。

ピカピカの一年生

去る4月6日午後1時30分、片貝小学校(福原)で入学式が行われた。今年ピカピカの一年生に、計39名の子供たちが希望に胸をふくらませ、入学式を終り、新しい小学校生活をスタートさせた。

かたかい春秋
早いもので風からかたかいにして、市民を驚かす。5月5日、市民を驚かす。5月5日、市民を驚かす。5月5日、市民を驚かす。

忍字亭に管理人おく
使用を便利に、を配慮
片貝ふれあい公園管理委員会(吉井陽会長)では、本年度の片貝ふれあい公園忍字亭には管理人を常駐させ、今年4月から来春3月まで定休日の毎月曜日と第一火曜日、第三日曜日を除いて全面的に開放し、利用できる時間は原則として、午前9時から午後4時まで、夜間は9時30分までとし事前許可。けやき園の開放は、忍字亭の開放に併せて、けやき園の開放も行う。

